

1. 本園の教育目標

み仏様のみ教えのもと「心の教育」の追求と育成をその基盤として、文科省が示す幼稚園教育要領に則り個性を尊重してその向上・発展に努め、家庭教育と相俟って純真澆刺たる子どもに育てること。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

職員の意識を統一し、「教学寺幼稚園らしさ」を大切に守り続けながら、新たな価値観や多様化するニーズに柔軟に応じていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
危機管理	B	本年は“防犯”意識を重点的に高めた。戸畑警察署の方に来園していただき、不審者訓練を行うことにした。数日前からシミュレーションを重ねていくと次々と盲点が明らかになった。その都度必要な対応策を実施し、当日はスムーズに避難できた。
教師としての資質向上	B	各自専門分野（幼児理解や発達支援、就学前支援、マネジメントなど）の研修に取り組んだ。今までの経験をもとにさらに理論を深め、教育内容の充実を図り、職員間で共有した。
環境整備	A	床をフローリングに張り替えたことで、床の汚れに気づいた時に、園児自ら拭こうとする姿があった。図鑑や絵本の新刊などを多数購入、特に図鑑は人気で順番待ちになることもある。それぞれ新しい興味を見つけたようである。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	危機管理に関しては、ほぼ毎月の訓練で避難時の職員同士の連携や園児の落ち着きなど定着してきている。また、室内の遊具や絵本は整ってきたので、次年度は園庭の遊具を見直したい。教師としての資質は常に探求していくべきものだと思っている。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
行事の取り組み	酷暑の中での外練習が危険なため、次年度は運動会を11月に開催することにした。それによってほかの行事やカリキュラムにどのような影響を及ぼすか検討し、園児のよりよい生活と質の高い保育を考える。
教師としての資質向上	経験年数の長い職員が増えているので安心だが、その分マンネリになったり自分のやり方のみにはまってしまうことのないよう、客観的な視点で保育や言葉かけを見つめ直してみる。時には別の担任の良い面を取り入れるなど、柔軟にクラス運営をする。
危機管理	年間を通じて、火事、地震、高潮、防犯訓練を行う。建物の構造的に不可能でないことはすべて、あらゆる方法であらゆる災害から命を守る訓練を想定する。職員の想像力と真剣さを培う。

6. 学校関係者評価委員会の評価

《総評》

幼稚園全体で一人ひとりの子ども達を見守る体制や姿勢を随所に感じます。幼稚園に行って“学びたい”“楽しみたい”という子どもたちが溢れている印象です。

～危機管理について～

子どもを、登園・降園させる際に気づきましたが、先生が、担当している学年以外の子どもや保護者の特徴を捉えているということです。この特徴を各教諭が知り、共有されていると感じました。

～教師としての資質向上～

各教諭が担当クラス、他クラスの子どもの名前や特徴を捉えているため、幼稚園に行き学びたい、遊びたい子どもが多くいると感じます。一人ひとりの子ども達にしっかり向き合い寄り添ってくれたおかげで子どもたちの心の成長につながったと思います。

～環境整備～

幼稚園で見た絵本や図鑑に興味を持ち、書店で購入したという子ども達を見聞きしたことがあります。子ども達の興味のある本や図鑑の紹介を今後も継続していただきたいです。また、今年度から課外教室が増えたことで、一人ひとりに合った興味や関心、学ぶことについての選択肢が広がったと思います。